

2013年度中京大学入学式祝辞

梅村学園理事長 小川英次

春爛漫の季節に、晴れて中京大学の学部並びに大学院に入学される皆さん、本日は誠にめでとうございます。中部圏最多の三万二千七百余人の志願者から、選ばれて入学を果たされた学部生の皆さん、研究に邁進するため中京大学大学院の門を叩いた大学院の皆さん、梅村学園を代表して、皆さんの入学を心から歓迎します。また、これまで、新入生を見守ってこられたご家族、保護者の皆様には、謹んでお喜びを申し上げます。

さて、皆さんの学びの場となる中京大学はどのような大学なのでしょうか。

中京大学は九十年前の一九二三年に設立された中京商業学校、現在の附属中京高等学校を基盤とし、その三十一年後の一九五四年、商学科の一学科でスタートした「中京短期大学」が前身です。二年後に四年制商学部の中京大学が開設されますが、学生数は二百三十七人でした。

初代学長であり、理事長である梅村清明先生は、開学式で新入生たちを前に、こう話しました。

「健全な身体に健全な精神を宿す、中正質実な指導的社会人を育成することを旨とする」。

男性も女性も、社会の骨格を支える人材として、健全な身体に、健全な心を備えた若者を育成する、との思いを教育理念として謳いあげたのです。

中京大学には、学園創設者が掲げた「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」という含蓄の深い建学の精神があります。学術とスポーツを両輪とすることは、学問への知的関心と健全な心身のバランスこそ、大切だと考える点にあります。

そして、梅村清明・初代学長は、文武両道を説いた建学の精神に立って、健全な心、すなわち「スポーツマンシップ」を体得することを求めたのです。

それは、四つから成り、（一）ルールを守る（二）ベストを尽くす（三）チームワークをつくる（四）相手に敬意をもつ、の四大綱です。

スポーツマンシップとは、自分を卑しめず、人を卑しめることなく、正しく、独立して生きていく心と、広く心を開いて人に協力していく心、そうした心を堅持した、常識に満ちた、すがすがしさに満ちた精神であります。皆さんには是非とも、中京大学を貫く精神、「スポーツマンシップ」の精神を心に留め、磨いてほしいのです。

中京大学の教職員、そして皆さんの先達も今日まで、この精神を心に抱いて多くの困難を乗り越え、幾多の人材を育んできました。その結果、本日開設された工学部をはじめとする十一学部と十一研究科を擁する、有数の私立総合大学の位置を得るまでに至ったのです。卒業生は十一万人を超え、同窓生は、中部圏はもとより、日本や世界の各地で、広範な分野で幅広く活躍しています。

建学の精神と四大綱は、半世紀以上を経た今日において、ますます重要・不可欠な気質として広く理解されているということを知ってください。

皆さんは、このような中京大学で大学生活のスタートを切るわけですが、この機会に、私の考えと希望を述べ、皆さんの大学生活の参考に供したいと思います。

一つは、大学は学生が主体的に勉強することを前提にしている、ということです。高等学校までの与えられる授業ではなく、問題を自ら発見し、解明する方法を検討し、解決の道筋を組み立てる力、つまり、自ら考え、自ら解決し、文章や会話によって説得する力を修得するところにあります。

待っているは何も起こらないのが、大学なのです。自ら進んで先生や先輩に教えを乞うとか、読書や人との会話、コミュニケーションを通じて、自ら学び取る姿勢を身につけてください。

それは同時に、幅広い分野の教養を備えていることが必要だということです。現代はともすると、専門的な知識や見えやすい分野への関心が高まっていますが、皆さんが大学を卒業し、実社会である程度経験を積んだ段階では、その人の持つ見識、教養の広さ、深さを備えているかが問われることになります。

二つ目は、「未来は明るい」と信じ続ける心構えです。皆さんのこれからの四年間ないし六年間は、失敗や挫折があるかもしれません。悩むことも随分とあるでしょう。

しかし、それらを憂いた精神状態から、向上する姿勢は何一つ生まれません。困難な状況は避けて通れない覚悟をもって、大切なのは「人生は山あり、谷あり」、明日を信じる「限りなき楽観」です。

生きていることへの感謝の心を持ち続け、良い時に気を引き締め、困難な時にふさぎ込むことなく、心を落ち着かせて対策を考えてみることです。

私のように一九三一年、太平洋戦争の十年前に生を受けた年代は、戦後の混乱の中、波乱万丈の青春でした。深刻な就職難は、今もそうですが、終戦後の五年から十年は、その極みでした。就職活動期間中の一九五二年十月、私は急性盲腸炎の手術を受け、以後の授業は治療のため「全休」でした。工学部を卒業することはできましたが、就職はできず、気を取り直して経済学部で学士入学したのです。それ以来、私は不運を嘆くことなく「災いを転じて福となす」ことに覚悟を決めたのです。

今、こうして入学式に臨んでいる皆さんにとって、この時間は万感に浸り、希望に満ちている時でもありましょう。多くを受験勉強に費やした高校生活から脱却し、立ち止まって将来の自分の人生に思いをはせる時間であってほしいと思います。

そして、明日からの四年間という時間に磨かれて、卒業時には、激動の現代社会に生きる、人生の出発点を発見されることを期待しています。

中京大学では満足度の高い教育プログラムが充実しています。これらを積極的に利用し、視野を広げ、夢を実現するための実力を身につけてください。皆さんが志と勇気を持って事に当たっていく限り、教職員は必ず皆さんを応援していきます。

中京大学は梅村学園九〇年の誇りうる伝統と歴史の上に立っています。皆さんが中京大学で勉学することに誇りと自信をもって、人間性豊かな中京人になられることを願い、お祝いの言葉といたします。

本日はご入学おめでとうございます。